

博士課程教育リーディングプログラム 平成25年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	山形大学	申請大学長名	小山 清人
申請類型	オンリーワン型	プログラム責任者名	大場 好弘
整理番号	002	プログラムコーディネーター名	飯塚 博
プログラム名	フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

山形大学理工学研究科では、新たな価値を創成し、各方面において地域及び国際的に活躍が出来、将来的に国際標準化を勝ち取る国際的企画コミュニケーション力を兼ね備えたリーダーとなれる高度職業人及び研究者を育成しようと改革を進めている。

本プログラムでは特に下記4つの資質をバランス良く備える人材を育成しようとしている。

- 1) エネルギーや環境に対する高い問題意識と地球規模の福祉増進を目指す未来志向の使命感にあふれる人材
- 2) 有機材料工学を主とし電気電子工学、システム工学（基礎と応用）の基盤知識を備えた高度な専門性を駆使できる人材
- 3) 科学的視点と経済的視点、ミクロな視点とマクロな視点などの複眼的思考を持ち価値創成実践力を兼ね備えた人材
- 4) 国際交渉に臨めるグローバル企画コミュニケーション力を兼ね備えた人材

本学では平成22年度に日本初のフレックスコースシステム創成工学科を工学部に立ち上げ専門性に特化せず、より広いバックグラウンドを持つ人材育成を進めている。本プログラムは同科と連携した教育が可能となる。

2. プログラムの進捗状況

平成25年4月に、内外の優秀な学生10名を選抜し、リーディングプログラム教育を開始した。外部生は4名で、うち1名が留学生である。高い問題意識と未来指向の使命感にあふれる人材を育てるため、キャリアデザインスタートアップ科目（スタートアップキャンプ、地元グローバル企業見学を含む）を前期に開講した。高度な専門性と複眼的思考をもつ人材を育成するため、主専攻・副専攻を決定し、各自のキャリアパスに応じた最適の講義を受講させている。受講講義の決定には、メンター教員がアドバイスを行っている。グローバル企画コミュニケーション力を育成するため、国際シンポジウム(Smasys2014)、韓国短期研修、九州大学リーディングプログラムとのジョイントシンポジウムを行った。インターンシップ先の開発のため、欧米およびアジアの企業訪問を行った。

優秀な学生を確保するため、ホームページの整備とともに、学内説明会、学外（東京）説明会、高専（専攻科）、海外の大学訪問を継続的に実施した。

平成26年度の選抜試験を平成25年9月と平成26年3月に実施し、受験生15名から10名を選抜した。外部生は3名で、全員留学生である。